

定員：**36**名

※先着順で受付
満員になり次第締切

第155回 華人研セミナー

上海国際港務集団

～コンテナ物流と上海港の発展～

2023年 2月 11日 (土)

午前 10:00～12:00

1956年に米国で始まったコンテナ輸送は海運の革命といわれている。大阪港では1969年に最初のコンテナターミナルが稼働した。上海港がコンテナ荷役を始めたのは1979年であった。1993年には香港のハチソン社と合弁会社「上海コンテナターミナル有限公司」を設立し、これを契機として外高橋地区や洋山港での相次ぐコンテナターミナル建設につながっていった。

今や上海港は世界一のコンテナ取扱量を誇っている。上海のコンテナ取扱量の急増を振り返りながら日本のコンテナ港湾政策についても考えてみたい。



話題提供者

大阪港振興協会 専務理事

有田 正文 氏

ありた まさふみ

1953年生まれ

1975年3月 大阪市立大学経済学卒業

1975年4月 大阪市に就職(港湾局)

1996年4月 大阪市港湾局振興課長

2002年4月 大阪港埠頭公社総務部長

2013年4月 公益社団法人大阪港振興協会
専務理事兼事務局長



■会場

大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル 5階)
第4研修室

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5・6階

【TEL】06-6345-5000 (代表)

■申込方法

メール連絡のみで受付 事務局メールアドレスまでご連絡ください

✉ sec@kajinken.jp

■参加費

一般 2,000円 学生 500円